

【取組内容①】 個別最適な学び個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

ICTの効果的活用の実践①

- 「タブレットPC」使用⇒児童の学習意欲の向上や学習履歴の見返しが可能
- 「ペア・グループ学習がタブレットPCでも可能」⇒ジャムボード
- 「他者の考えが参照できる」⇒スプレッドシート
- 「アンケート活用がスムーズ」⇒Googleフォーム
- 「教材のペーパーレス化」⇒ジャムボード

6年生 理科「スプレッドシート」を利用してのめあて・ふりかえりの学習履歴の見返し

出席番号	氏名	URLはりつけ	めあて	ふりかえり	自己評価
1	理科 (みんなで使う... 実験後のルールについて確認しよう！)	今日は、一時間目に引き続き理科室の使い方を勉強しました。前より内容は少ないけど一つ一つしっかりと学べるようになってきました。	◎
2	○
3	○
4	実験が終わったように片付けると良いだろう。	今日は、実験と違って画像が貼れたから、わかりやすくなったので良かったです。	◎
5	実験後の片付けについて調べよう	...	○
6	実験後の片付けについて調べよう。	...	○
7	○
8	○

出席番号	氏名	URLはりつけ	めあて	ふりかえり	自己評価
1	理科 (みんなで使う... 実験後のルールについて確認しよう！)	今日は振り返ることもできまし、自分が気づかない事も書くことができた。	◎
2	○
3	○
4	実験が終わったように片付けると良いだろう。	今日は、実験と違って画像が貼れたから、わかりやすくなったので良かったです。	◎
5	実験後の片付けについて調べよう	...	○
6	実験後の片付けについて調べよう。	...	○
7	○
8	○

9月

学習意欲の向上につながった

11月

【取組内容①】 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」

ICTの効果的活用の実践② 「特別支援・6年理科」

○「授業の流れをクラスルームで」

今日の学習の流れをクラスルームに「学習課題」「情報収集」「整理と分析」「まとめと振り返り」として掲示し、子どもたちが個々で学習に取り組めるようになった。

⇒その結果・・・○教師の説明の短縮化○板書の省略化へとつながった。

○「休み時間や空き時間にタイピング練習」

タイピングソフトを活用し、タイピングの練習を行う。キーボードにローマ字シールを貼ることで低学年の子どもたちもキーボード入力が上達した。

特別支援学級一日の流れ



10月23日

- 1 国語・・・こくごの力13・14・15
- 2 算数・・・かけざんプリント
- 3 国語・・・国語ノートにかんじのれんしゅうを2ページ
- 4 算数・・・テスト
- 5 国語・・・国語ノートにかんじのれんしゅうを2ページ

クラスコメントを追加...

6年理科 ラーニングガイド



2月21日(水) 単元名 「発電と電気の利用」 8/13
 「単元のゴール」
 電気をつくったり、たくわえたり、使ったりして、電気のはたらきを調べよう。
 「課題」
 身の回りでは、電気をどのように利用しているのか考えよう。
 【今日のゴール】
 B：資料調べをまとめることができる。※教科書p179
 A：Bに加えて、プリントができる。※授業→発電と電気の利用8時間目
 S：Aに加えて、動画を見て気づいたことをまとめることができる。
 【学習の流れ】
 (1) 【課題の設定】
 ①課題とゴールを見ながら、今日の自分の「めあて」を書く。※スプレッドシート
 (2) 【情報の収集】
 ②教科書を読んで必要な情報を読み取る。p179
 (3) 【整理・分析】
 ③読み取った情報をもとに、まとめる。(選んだアプリ) など
 (4) 【まとめ・表現】
 ④ふり回り ※スプレッドシート

児童への支援



【取組内容③】 「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」

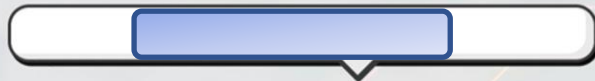
ICTの効果的活用の実践③

○「タイピングの効果的な練習」

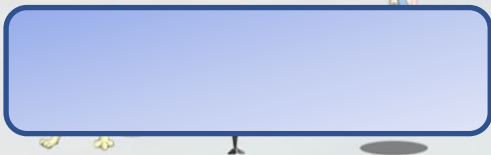
土日に持ち帰らせ、日記を書かせることでタイピングの練習につなげた。またタイピングソフトでタイピングの練習を行った。そして校外学習をしたあとの、新聞作りなどでタイピングのスキルを身に付けた。

○「その日の学びと連動した家庭学習の充実」

ドリルソフトで宿題を出したり、ジャムボードでオリジナルの問題を作成し配布したりすることで効果的活用を図った。(右下の図参照)



キーボードで人とコミュニケーションをとるモンスター「キーボード」を育成しながら、無料でタイピング練習ができるサイトです。ブラインドタッチを練習したい初心者から、タイピング速度を競いたい上級者まで利用できます。育成した「キーボード」を使って、タイピング対戦ゲームをすることもできます。動画配信や学校、企業での利用などについては、[こちら](#)をご覧ください。



0からブラインドタッチを練習したい！

① 糸におもりをつるして、ふりこをつくりました。

(1) ふりこの長さは、㉑～㉓のどれですか。

(2) ふりこのふれはばは、㉒、㉔のどちらですか。

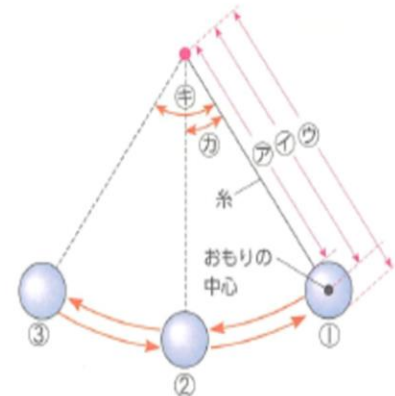
(3) ふりこを①からふらせませす。ふりこの「往復」は、どこからどこまでですか。正しいものに○をつけましょう。

ア() ①→②→①

イ() ①→②→③

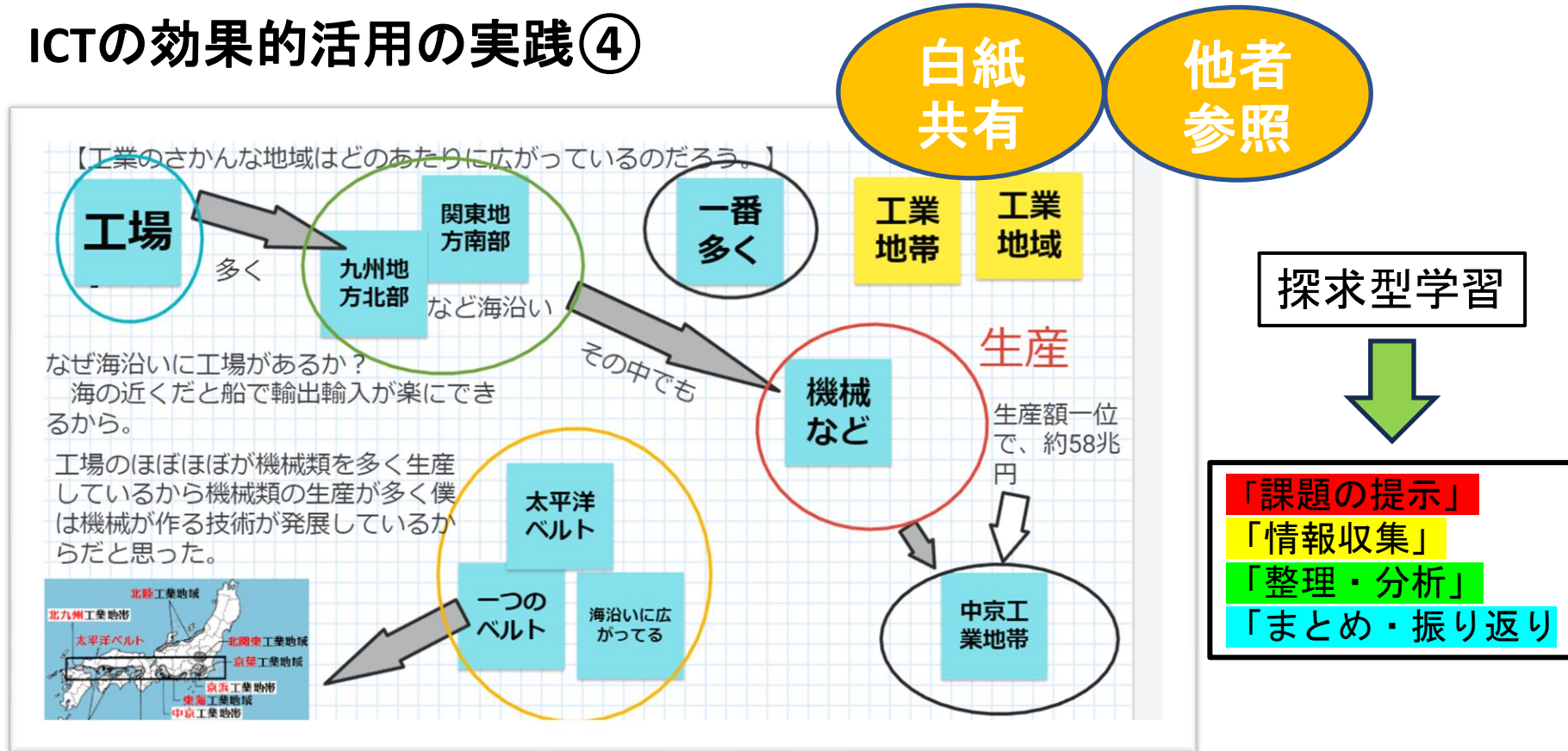
ウ() ①→②→③→②

エ() ①→②→③→②→①



【取組内容③】 「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」

ICTの効果的活用の実践④



○Jamボードで**白紙参照**や**他者参照**を行いながら家庭学習に取り組んでいる。**クラウド間での学び合い**の充実につながっている。

教科書の内容を
まとめる

【取組内容④】 校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修

ICTの効果的活用の実践⑤（職員会議・連絡）

← 2023年度 鏡原小学校教員 外部 28人のメンバー・制限付き

チャット ファイル タスク

今日の会議資料です。「職員連絡会、職員会議」は、15:00～です。
資料は全部で、45ページありました。裏表で印刷すると1人あたり23枚、職員数でかけると、
 $23 \times 20 = 460$
460枚のコピー用紙を使わなくてもいいと考えたら、パソコンってすごいなあ、ふと思いました。

第9回 職員会議

2023/10/27 15:00～

『議題』

議程番号	議題	出席者
1	12月行事予定	教員(5)
2	連絡協議(出席・準備)	教員(5)

会議の資料のクラウド化

- ・ 職員会議，連絡会，校務分掌部会等の資料のクラウド化。
- ・ 職員間の連絡をチャットで共有。

「会議資料等のクラウド化」により・・・

- 業務の効率化アップや用紙やインクの予算の削減。
- 資料を綴る時間の大幅な削減。
- チャット機能の活用により、場所を問わず資料を確認できるようになった。
- 学級事務や教材研究の時間の確保。

R5鏡原小学校GIGA実践ルーム 外部 21人のメンバー・制限付き

チャット ファイル タスク

秀太

次の比例反比例の学習を、このようなスライドを提示して取り組もうと思っているのですが、どんな情報を入れると良いかということ、めあての設定はどのように行ったら良いかというアドバイスがほしいです。よろしくお願いします。

比例の関係をくわしく調べよう

【学習目標】

①この学習を通して、身につけてほしいこと

- ・ 比例や反比例の意味や性質、表やグラフの特性について理解する。
- ・ 比例や反比例の関係にある2つの数量の関係を表や式、グラフに表したりする。
- ・ ともなう変わる2つの数量をみつけ、その関係によって表や式、グラフを使い分けて問題解決に活用する。

②全ての教科で、身につけてほしいこと

- ・ 学んだ内容と比較したり、自分の経験ともつなげながら、自分の説明の説得力を高める。

PDF 比例の関係をくわしく調べよう (全15...)

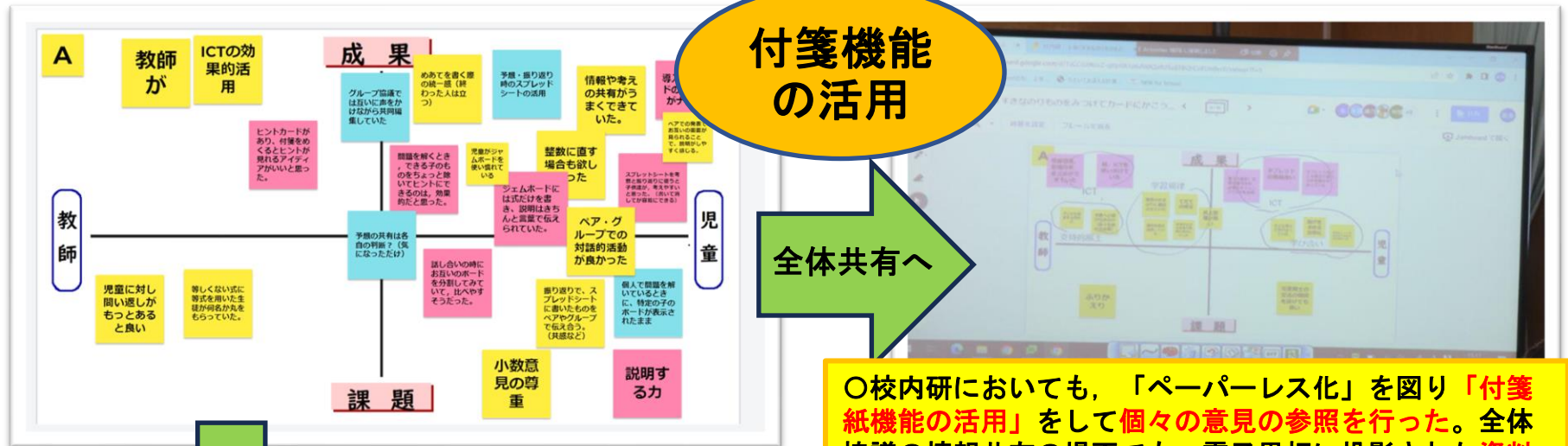
1

【取組内容④】 校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修

ICTの効果的活用の実践⑥（校内研修）

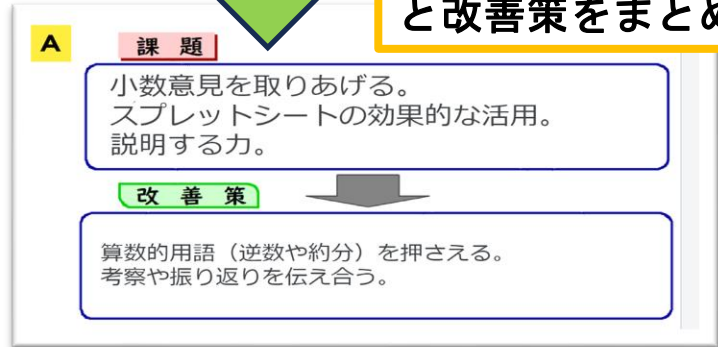
Jamボードで意見を出し合う・共有

電子黒板で発表



○校内研においても、「ペーパーレス化」を図り「付箋紙機能の活用」をして個々の意見の参照を行った。全体協議の情報共有の場面でも、電子黒板に投影された資料が共有されること、データ保存により、必要に応じて繰り返しもできる等良い点が生まれている。

出し合った意見から課題と改善策をまとめる



- グループ協議について
- (1) 個人
 - ①付箋を貼り出します。
 - ②類似した意見があったら、前の人が貼ったそばに貼っていきます。 } 5分程度
 - (2) グループ
 - ①付箋を整理・分類します。
 - ②内容のまとめりに、「キーワード」を書きます。
 - ③主となる「課題（改善を要する点）」を1,2点あげ、その改善案を話し合います。 } 10分程度

協議方法をジャムボードで提示

【取組内容⑤】 実践内容を地域内外に普及するための具体的な取り組み

ICTの効果的活用の実践⑦

○一年間の実践事例報告会を実施し、これまでの取り組みや実践事例を市内の教員に報告した。



宮古島市教育ICTインフルエンサー 外部

11人のメンバー・限定公開

チャット ファイル タスク

2年生理科の2学期期末テストの解答用紙をGoogleフォームで行ってみました。紙とタブレットで解答できるように準備して、生徒がどちらで答えるかは選べるようにしたところ、2学年40名中25名程度がタブレットで解答しました。

採点時間が格段に短くなり、業務改善になったと感じています。興味ある人はぜひ！！

一番下に移動

○市内のインフルエンサーでチャット機能を使い、日々の授業の様子や疑問に思ったことなどを今も継続して共有している。

【取組内容⑤】 実践内容を地域内外に普及するための具体的な取り組み

ICTの効果的活用の実践⑧

以下の4つの取り組み事例を市内の教員に報告した。また、児童を交えてのパネルディスカッションを行い、ICTを使つての授業のやりがい、困り感など生の声を届けた。

児童の声



- ジャムボードに意見や考えをたくさん出せる。
- 自分の考えを共有したり、他者参照することで学びが深まる。
- 自分で課題を決め、調べ、まとめることができるので自分のペースで学習ができる。

○「個別最適な学びの実践事例」

白紙共有や他者参照を行い、考えを深めたり、振り返りに意欲的に取り組めるようになった。また、授業のまとめや振り返りなど、スプレッドシートを活用することで、場所を問わず確認することができた。また、ラーニングガイドでは、めあて、学習内容、学習評価、学習過程、学習方法、資料添付などをし、クラスルームや電子黒板に示し、具体的な取り組みかたを示すことで、「見通しを持たせてあげる」ことが可能となっている。ラーニングガイドを提示することで子供たちは自分なりの学習評価＝ゴールを設定し、自主的に学習していくことができたと感じる。

○「ペーパーレス化」

リーディングDXスクール事業実践前は、職員会議資料や校内研修資料は、紙媒体で綴っていた。提案資料回収に時間がかかったり、紙なので印刷したり、まとめるために相当の時間を要した。事業実践後は、「ペーパーレス化」を図っている。会議や研修に係る紙媒体の印刷・製本がなくなり、それに係る作業時間の削減が可能となった。

○「チャットの活用」

DX実践前は、会議資料及び研修資料等の「共有資料」は、「校務支援システム」や「NAS」を通してのデータの保存であったり、データの送受信であったり、さらには紙媒体による共有方法であった。DX実践後は、アドバイザーの助言もあり「チャット」活用を開始し、現在では、データの送受信や諸連絡等もチャットで行い、情報共有の一元化が図られつつある。また、授業実践の共有や教材研究等の学び合いも可能にしている。

○「校内研修のICT活用」

ペーパーレス化は基より、授業研究会においては、教員個々がノートPC（タブレットPC）を持参し研究協議している。その中で、「ジャムボード」の「付箋機能」を使用し、グループ協議（ワークショップ型）を行っている。教員個々の意見がその付箋に反映されること、そして全体協議の情報共有の場面でも電子黒板に投影された資料が共有されること、さらには、データ保存により、必要に応じて振り返りもできる良い点が生まれている。